



EUREKA LABO

不動産管理業向け サービス紹介資料

株式会社Eureka Labo



01	会社とサービス	P.03 – 04
	2つのサービスと、ご相談から着手までの進め方。	
02	ソフトウェア開発	P.05 – 07
	開発領域と支援範囲、課題解決のイメージ、試算例。	
03	AI導入支援	P.08 – 10
	支援内容と支援範囲、業務改善のイメージ、試算例。	
04	費用とご相談	P.11 – 12
	費用の目安と、30分無料面談のご案内。	

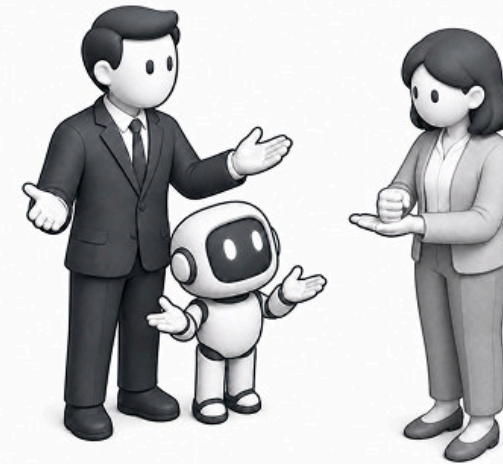
EUREKA LABO は 2つのサービスを展開しています

ソフトウェア開発



企業ごとにカスタマイズされた
必要十分な機能を備えた開発

AI導入支援



繰り返し・手入力・目視をAIに任せ、
人は判断に集中できるように

進め方

初回相談から概算見積まで無料で行います
ご契約までの打ち合わせは原則2回・最大3回程度

30分の無料面談

サービスの説明やご相談内容を伺います

無料

詳細ヒアリング

業務の流れ、既存システム、現在の課題などを確認

課題と方向性の整理

改善する業務と、AI導入・開発の方向性を整理

打ち合わせ
2~3回程度

提案・概算見積

支援内容、進め方、期間、概算費用をご提示します

ご契約・サービス開始

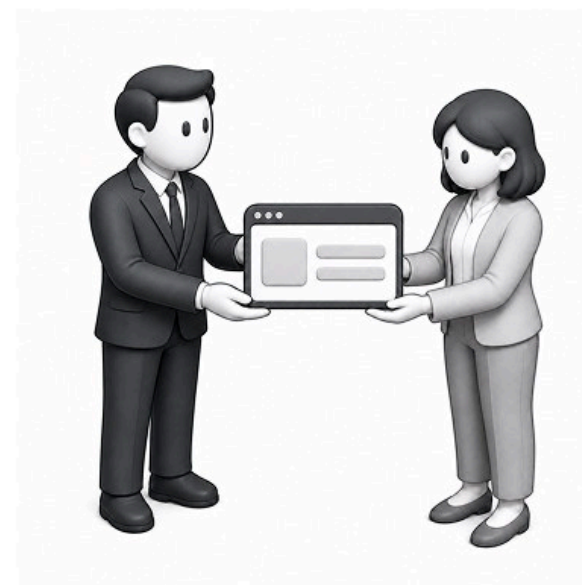
内容にご納得いただいた後、正式に着手します

ソフトウェア開発

新規サービスの立ち上げから、社内業務のシステム化など
課題やアイデアを整理し、実際に使えるソフトウェアとして形にします。

開発領域

- ・ 新規Webサービス・MVP開発
- ・ 業務システム・社内ツール開発
- ・ モバイルアプリ開発
- ・ 既存サービスの機能追加・リニューアル



支援範囲

企画・要件整理

UI/UX設計

開発

リリース

保守・改善

ソフトウェア開発による課題解決のイメージ

	困りごと	開発するもの	解決後
修繕対応	修繕依頼や業者との連絡が、 電話・メール・Excelに分散している	受付から発注・完了までを、 案件ごとに管理する仕組み	対応状況を共有し、 連絡漏れや手配の遅れを防止
入退去管理	解約・立会い・原状回復の予定を、 複数の表で管理している	退去から再募集までの工程と期限 を、物件ごとに管理する仕組み	次の対応を明確にし、 手続き漏れや空室の長期化を防止
入金管理	銀行明細と請求データを、 担当者が目視で照合している	入金と請求を照合し、 未入金や不一致を抽出する仕組み	確認作業を減らし、 未入金への対応を早める
オーナー報告	収支や修繕情報を集め、 物件ごとに報告書を作成している	各種データを自動集計し、 月次報告書を作成する仕組み	集計と転記を減らし、 報告の遅れや数値ミスを防止

ソフトウェア開発の試算例

オーナー向け月次報告書の作成を自動化した場合



想定する企業

- ・賃貸住宅管理会社
- ・管理戸数 約1,500戸
- ・月間報告書 80件



開発するもの

- ・管理システムやExcelから必要なデータを取得
- ・物件ごとに数値を集計し、報告書へ反映
- ・確認後、既存のExcel・PDF形式で出力

導入前

複数のシステムやExcelから数値を集め、物件ごとに集計・転記・グラフを作成。1件あたり約25分。



導入後

必要なデータを自動集計し、報告書の草案を作成。担当者は数値とコメントだけを確認。
1件25分 → **8分** に短縮。



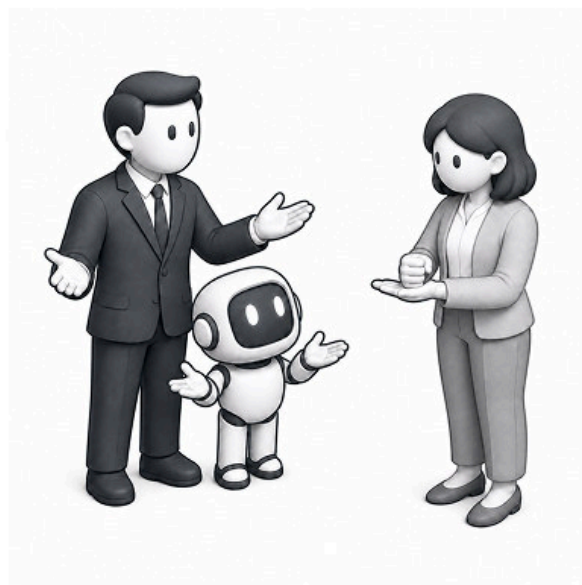
試算効果

作成時間	約 68 %	削減
月間	約 23 時間	削減
年間	約 68 万円	相当

※月間80件、1件25分→8分、時間単価2,500円として換算。
数値や生成コメントは担当者が確認し、承認後に提出する前提です。

AI導入支援

ClaudeやCodexなどのAIツールを業務に合わせて導入・設定し、日々のワークフロー改善につながる使い方を整えます。



支援内容

- AIを活用できる業務の整理
- Claude・Codexなどのツール選定・初期設定
- 業務別のテンプレート・利用手順の整備
- 社内研修・利用ルールの策定
- 導入後の活用支援・改善

支援範囲

業務ヒアリング

ツール選定

初期設定

活用設計

研修

運用改善

AI導入支援による業務改善のイメージ

	困りごと	整えること	解決後
入居者対応	問い合わせ内容を読み、必要事項の整理と返信文を作成している	内容を要約し、確認事項と返信案を作る指示文を設定	内容整理と文章作成を早め、担当者の対応負担を減らす
契約更新	契約内容を確認しながら、更新案内を毎回作成している	契約書と社内ルールを参照し、更新案内の下書きを作成	案内文の作成を早め、記載漏れや内容のばらつきを防止
社内情報	資料や対応履歴が分散し、詳しい担当者へ質問が集中している	承認済み資料をAIで参照できるように整理し、質問方法を設定	必要な情報を探しやすくし、社内の確認対応を減らす
報告業務	巡回記録や修繕履歴を読み返し、報告用の文章を作成している	写真・メモ・対応履歴を基に、報告文の下書きを作成	文章作成を早め、担当者ごとの品質差を減らす

AI導入支援の試算例

入居者からの問い合わせ対応をAIで支援した場合



想定する企業

- ・賃貸住宅管理会社
- ・管理戸数 約800戸
- ・月間問い合わせ 300件



整えること

- ・問い合わせ内容を要約し、物件・部屋・症状を抽出
- ・確認項目と入居者への返信文候補を作成
- ・緊急度や費用負担は担当者が確認・判断

導入前

メールやチャットの内容を読み、必要事項を整理して受付記録と返信文を作成。1件あたり約8分。



導入後

AIが問い合わせ内容を整理し、返信文の候補を作成。担当者は内容を確認して修正・送信
1件8分 → **4分** に短縮。



試算効果

作成時間	約 50 %	削減
月間	約 20 時間	削減
年間	約 60 万円	相当

※月間300件、1件8分→4分、時間単価2,500円として換算。
緊急度、修繕手配、費用負担は担当者が判断する前提です。

費用について

初回相談から概算のお見積りまでは無料です。
ご提案内容と費用にご納得いただいた後、契約・着手します。

ソフトウェア開発

支援内容（例）	期間の目安	費用の目安
要件整理・技術検証	1～3週間	10万円～
試作・小規模な業務ツール開発	2～6週間	30万円～
本格的なシステム・サービス開発	1か月～	個別見積

AI導入支援

支援内容（例）	期間の目安	費用の目安
ツールの初期設定・活用方法の設計	1～3週間	10万円～
業務別テンプレート・利用ルール・研修	2～4週間	20万円～
導入後の活用支援・改善	月単位	月額5万円～

費用は、対象業務の範囲、利用人数、既存システムとの連携、データの状態などによって変動します。
AIツールのアカウント料金、API利用料、クラウド費用などは別途発生します。

AIか、開発か。 決まっていなくても構いません。

現在の業務と困っている箇所を伺い、
最初に取り組む範囲を一緒に整理します。

30分無料面談を申し込む

事前準備は不要です。
帳票やExcelなどがあれば、より具体的にお話できます。



εUREKA LABO

hero.matsuyama@eurekalabo.com

<https://www.eurekalabo.com>